

第3回江府町公共施設あり方検討委員会 会議録

日時 令和元年9月11日
午後6時～8時10分
場所 江府町役場2階 大会議室

午後6時開会

- (事務局) (資料① 前回の議論の結論を振り返り)
- (委員) 役場庁舎の方針欄に「借地は契約を更新しない」とあるが、どこのことか?
- (事務局) 庁舎全体ではなく、職員駐車場などの一部の土地のこと。
- (委員) 委員会の意見として利用廃止と決まれば、建物は具体的にどうなる?
- (事務局) すぐに解体というわけにはいかないのです、個別の廃止計画を町が立てる必要がある。一度にすべてを解体するのも困難なため、段階を追って解体してゆくようなもの。

【中電江尾研修施設】

- (事務局) (建物の概要、町の方針説明) 町の方針としては、文化財としての現状維持としたい。
- (委員長) 以前に発電所の利活用を考える会があったが、外壁を変えることはできないという話だった。内部をギャラリーやマイクロ発電の設置といったものために改修するのは可能で、改修費用の半分は文化庁が出してくれるという話。解体するのは惜しい建物。
- (委員) 古い建物は日本の中でも珍しい。PRを町はしていないのか?
- (事務局) この建物については、特に行っていない。
- (委員) 映画撮影のロケ地とか、結構需要があるのでは? もっとPRしてはどうか?
- (事務局) 障がい者団体が本庁舎の中を映画ロケで使うという話もある。確かに需要はないわけではない。
- (委員長) 一時的な利用の案もよいが、継続して利用するための案も大切では?
- (委員) 江美城もクラウドファンディングで改修したので、それを使うのもよいのではないかと思う。ところで建物共済費がゼロだが、町でなく文化庁が共済に加入しているのか?
- (事務局) 共済には加入していない。そのため、修繕が必要となれば実費で修繕となる。ただし、周辺の草刈りなどの費用が発生しているため、実質は維持管理費ゼロというわけではない。
- (委員長) 木工芸同好会などの文化的な団体が使うのも合っているかもしれない。委員会としては、文化財としての魅力も発信しつつ、継続的に利活用できる案を考えるという方針でよいか。
- (委員) 以前に喫茶店として利用したいという方もあったが、改装にかかる費用の面で実現しなかった。
- (委員長) 確かに、水回りや電気、安全性の担保といった問題もある。利活用を考えるうえで費用負担は無視できない。しかし、置いておくだけというのはよろしくない。

【特別教室（旧江府中学校横）】

- (事務局) (建物の概要、町の方針説明) 町の方針としては、新庁舎用の書庫、作業員控室等に活用する予定。
- (委員長) 町の方針として書庫等として利用するとあるが、いま役場の書類は日輪閣や旧米沢小学校、本庁舎裏の車庫と様々な場所で保管されている。もっと書類の整理が必要かと。
- (事務局) おっしゃるとおり。整理したのち、新庁舎の移転に併せて、近場となるこの建物を書庫として利用したいという方針。なお、現在は新庁舎建設の現場事務所として利用されている。
- (委員) 分散している資料をこの特別教室に入れればどれくらいのスペースを取る？
- (事務局) ほぼ全部埋まると思われる。公文書には保存期限があり、廃棄できない文書も多くある。
- (委員) 文書は紙でなくてはならないのか？
- (事務局) 保存規程もあるが、必ずしも紙でなくてはならない、というわけではないものもある。PDF化など文書保存の全般について、現在は検討している段階。
- (委員) 空調設備はどうなっている？
- (事務局) エアコンや室外機など、物としては残ってはいるが、長年放置しているためおそらく使用できないと思われる。
- (委員長) この建物は町の方針と同じでよいか。
- (委員) (異議なし)

【旧明倫小学校】

- (事務局) (建物の概要、町の方針説明) 町の方針としては、施設老朽化のため校舎部分については廃止し、解体。ただし利用者のある体育館は現状維持。また、跡地利用については要検討としたい。
- (委員長) 維持経費には教室分も含まれている？
- (事務局) そのとおり。以前は選挙の投票所などにも使用していた。
- (委員長) 以前にも、小学校は地域のシンボルだという話もあったが、小さな集会所などが代わりにあってもよいかもかもしれない。
- (委員) 前に神楽を見たりしたが、ちょっとした集まりをするならば、やはり小さな施設がよい。また、全体的に見れば確かにかなり古くなっているが、体育館のトイレは今年度予算で改修してもらっている。体育館の利用者は現在も多い。
- (委員長) 古いことと利用が多いことは切り分けて考える必要があるとも思う。利用が多いからといって、古いままにしておくわけにもいかない。古く、利用が多いなら改修もそれなりに必要。
- (事務局) 資料では校舎棟より体育館のほうが建築年数が古いことになっているが、校舎は改修したのちの年数となっている。実際には校舎のほうが古い。
- (委員長) 公共施設は誰でも使えるものなので、安心・安全であることが前提。体育館を残すとすれば、あとどれくらい使えるのか、といったことを考えながら、機能の集約化などを柔軟に考えていくべきではないか。

- (委員) いまの地域には、小学校のような大きな施設ではなく、少ない人数で集まれる場所が必要。
- (委員長) 集落以外の人でも、使えるような場所になるとよいかも。明倫小の跡地は、グラウンドなどは災害のときにも避難場所として使えるのではないか。委員会としては、校舎は解体し、体育館は現状維持だが耐用年数を見ながら統合、廃止を地域と協議しながら検討すること、代替となるコミュニティスペースが必要であることを意見としたい。

【旧米沢小学校】

- (事務局) (建物の概要、町の方針説明) 町としては、現状維持としたい。なお、旧職員室は農業公社事務所、一部教室は投票所として使用中、炊事室はジビエ加工所として整備中、2階は各旧小学校の記念品等や、古い農具の置き場所として、3階は役場の書庫として使用している(ただし、新庁舎の建設に併せて書類は移管する予定)。また、体育館は倉庫となっているが、改修して農機具庫とする予定。また、1次及び2次避難所として指定されている。
- (委員) 展示されているものをそのままにしておくのはもったいない。見学できるようにするとよいのでは？
- (委員) 私の地元では、廃校を子育ての支援センターとして利用している。廃校になっている背景はどの地域も同じはず。ニーズがあることを証明できればそういった施設として活用することもできるのではないか。
- (事務局) 施設を整備する際には防災、子育てなど優先順位をつけなければならないが、特に子供が少ない町の状況では、旧米沢小学校を子育て施設に改修することのニーズを見込めない。まず、米沢地区は子どもが少ない。加えて、地理的な要因からも、他の地区から米沢小学校まで足を運ぶ人は極めて少ないと思われる。
- (委員長) 地域差というものがあるので、他の地域でできることがここでできるとも限らないのは確か。
- (委員) 空いている小学校などで商売はできないか、というニーズ、問合せも確かにある。サテライトオフィスのような。
- (事務局) 町としても、貸し出して財産収入となればよいという考えもある。
- (委員長) 単なる思いだけでなく、利活用するならば継続性も重視しなければならない。
- (委員) 自分がやろうと思っても、原資やノウハウがない。そこから考えなければ。
- (委員) 商工会に相談するという手もある。
- (委員) 校庭にあるプールはどうなる？
- (事務局) 防火水槽としての機能もあるため、水は溜めたままとしたい。
- (委員長) 他の旧小学校は地域の人々がよく利用しているが、米沢小学校はどうか。
- (事務局) 同水協米沢支部が使用したり、先日もあったがタイムカプセルを掘り起こしたりと、利用頻度は低いもののまったく関わっていないというわけでもない。ただし、米沢小学校は他の小学校と比べても民家や集落から遠く、コミュニティスペースとしてのニーズは低いように思う。昔は町民運動会をしていたが、いまは行っていない。

- (委員) いくつか質問をしたい。一点目、写真を見ると立派だが、耐用年数をかなり超過している。今後も十分活用できそうな建物か？ 二点目、ジビエの加工処理施設として整備中とのことだが、具体的にはどのように使用するイメージか？ 今後の展開は考えているのか？ 三点目、新庁舎に併せて書庫移転とのことだが、2階のメモリアル的なものが保管してあるスペースはどうする予定か？ 四点目、体育館は、米沢地区の人々は使用しておられるのか？ それとも別の場所を使っている？
- (事務局) 2階は継続してメモリアル的な資料を整備するスペースとして使用する予定だが、3階については特に考えていない。ジビエについては、シカやイノシシなどを解体して、将来的には加工できるレベル、6次産業化まで持ってゆきたい。これは地元の猟友会の希望があって整備するもの。また、体育館は地元の方の利用はほとんどないため、いまは分散している農業公社の農機具庫とする予定。
- (委員) 体育館は貸し出しを行っていない？
- (事務局) できないくらい物が入っている。集落の要望もまったく聞いていない。
- (委員長) 耐用年数があるため永年使えるものではないことを念頭に置きつつ、1階は農業公社の事務所として、2階のメモリアル的資料は利活用の中でうまく生かすことができればよいのではないか。

【旧米原分校】

- (事務局) (建物の概要、町の方針説明) 町としては、具体的な利活用計画はないが、何かに使用するとすれば地元と協議が必要だと考えている。
- (委員長) ここ以外にも分校はあると思うが、どのような現状か？
- (事務局) 下蚊屋分校は、下蚊屋集落が指定管理を行っており、神楽の講演などの利活用を行っている。貝田分校は、貝田集落に管理を委託しており、物置として使ってもらっている。大河原分校はまったく使用できる状態にないため、今後廃止する予定。
- (委員長) 解体すべきものは放置するのではなく、速やかに処理すべき。
- (事務局) 今後、優先順位を設けて解体していく。米原分校については、軽量鉄骨造りのため耐用年数が比較的短く、すでに過ぎている。大河原集落の二次避難所となっているが、実際にはほとんど使用された実績もない。
- (委員) 大河原集落への指定管理の予定は？
- (事務局) 集落で使うニーズもないと思われる。大河原集落は大きく三つに分かれており、集会をするときには集落内の集会所に集まっている。
- (委員長) この施設を民間が使用するとして、建物に不備があり、責任を取らなければならなくなった場合は誰が責任を取る？
- (事務局) 指定管理の場合は指定管理先であるし、貝田分校のように単なる管理委託では町の責任となる。使用する形態によって異なってくる。指定管理、委託、売却等々の選択肢がある。
- (委員) 集落としてもしばらく前から使われておらず、改修にも費用がかかるということであれば、廃止が望ましいと考えるが、もし使いたいという方がおられるようであれば管理委

託や売却もよいのではないかと思います。

(委員) 実際に避難所として使うのであれば、普段から誰かが使っている方がよいという声もある。売却するとなればどれほどの価値がある？

(事務局) 建物は耐用年数をかなり超過しているため、おそらくほとんど土地代になる。

(委員) 敷地はすべて町有地か？

(事務局) そのとおり。

(委員) 耐震化のためにクラウドファンディングを利用するという案もあるのでは。

(委員長) 委員会としては、解体か利活用という方針で考えたい。

(委員) 開発センターと同じように、基本方針は解体だが、利活用案があれば検討するという方針でどうか。

(委員長) 公共施設は町民の財産であることを念頭に、委員会の方針としては、二次避難所とする限りは維持しなければならないが、廃止するか転用を検討する、という方針にしたい。

(事務局) 民間の方が使用、転用したいということがあるならば、妨げるものではない。維持管理費や諸々の負担は使用者が追うことになるが。

(委員) もし解体ということであれば別の二次避難所が必要となるのでは？

(事務局) 地域防災計画は5年ごとに見直すことになっているため、再度検討する必要がある。

(委員) 民間の方が利活用するというのであれば、さらに詳細な建物のインフォメーションがいるのではないか。耐用年数にしても一般的な算出であるため、実際にはあとどれほど使用できるのか、施設のどこが弱点なのか、といった情報を整理したうえで利活用を募ったほうが、民間の側も検討しやすい。

(委員) 利活用したい方に向けた募集は積極的に行うのか？

(事務局) 建物の方針が決まれば、施設の目的を定めている条例を廃止し、情報発信することとなる。

(委員長) この委員会で、ほかに協議しなければならない建物は？

(事務局) 現在の防災・情報センターについては、新庁舎ができれば教育委員会がそちらに移転するため、空くこととなる。ただし、町としての位置づけをまだ決めていないため、これがある程度固まってから委員会に諮りたい。また、江府小学校の一部、旧給食センターの利活用についても、教育委員会からの提案はあるがまだ整理できていないため次回に回したい。

(委員長) 委員会の判断とその理由をまとめる必要がある。予定では次回（第4回）が最後だが、もう1、2回必要ではないか。

(事務局) 委員のみなさんの都合がよければ開催したい。

【子供の国保育園】

(事務局) (建物の概要、町の方針説明) 今すぐに、という話ではないが、施設の老朽化も進み、レッドゾーンやイエローゾーンにも入っているため、近い将来に移転する必要がある。委員会においては移転先を議論していただきたい。なお、事務局としては江府小学校の

近くを候補地として考えている。

(委員) 現在、子どもは少ないが、今後増えるという前提で考えたい。

(委員長) 希望だけでは考え難い。日本の人口は全体的に減ってゆく、ピークから下がってゆくのが前提。

(委員) 子供施策がしっかりとしていると移住も増える。

(委員) 減っている現状を踏まえると、どれだけ楽観的に見積もっても保育園の規模は現状程度で事足りると思う。場所については江府小近くでよいと思うが、江府小のように借地では町の財政負担は増えるばかり。

(委員長) 明倫小学校の跡地はどうか。

(委員) 道路のアクセスが良くなれば、素晴らしいと思う。スペース的にも十分。

(委員) いまの保育園の子供の利用者数は最大で何人だった？

(事務局) 実際の数には定かでないが、認可定数は150人、利用定数は70人。保育料無償にしているので、ほとんどの江府町の子どもが利用していると思う。

(委員) 町としての人口動態、規模感を示していただきたい。

(委員) 明倫小の場所は、なかなか他の地区からしてみると通いづらいという意見もあるかもしれない。

(委員) 確かに、保育園、小学校、中学校はなるべく近い場所が良いと思う。保護者の負担も減る。

(委員長) 時間となったため、続きは次回としたい。

次回（第4回）開催は10月16日（水）